

— 市長への文化提言 —

はじめに、昨年１０月に東日本を襲った台風１９号により佐野市においても河川の決壊や溢水が発生し、甚大な被害が発生いたしました。衷心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興・復旧をご祈念申し上げます。

さて、私たちが住む佐野市は、天明鑄物を始めとする伝統工芸や牧歌舞伎や鐙塚宮比講神楽等の郷土芸能など、全国に誇れる地域の宝があり、これからも引き続き保存・継承する必要があります。

文化芸術には、楽しさや感動、精神的な安らぎや生きる喜びを感じ、人生を豊かにする力があります。その効力は、地域を活性化させ社会全体を元気にし、新たな社会を創造していくものであり、「産業・文化立市」という佐野市のまちづくりの方向性に叶うものと確信しております。

今後は伝統的な文化だけでなく、新しい文化の創造のため、文化芸術環境の整備を図る必要があります。当文化協会も、市民全体が生き生きとした文化芸術に親しめる環境づくりの一翼を担ってまいりたいと考えております。

私たち文化協会会員一同は、ここに文化芸術全般を検討してきた成果を取りまとめ、提言書として提出させていただきます。

佐野市執行部の皆様には特段のご理解をいただき、力強く文化立市を推進していただきますよう、心からお願いいたします。

令和２年３月１９日

佐野市長 岡 部 正 英 様

佐野市文化協会

会 長 青 木 勇

1 文化芸術に親しめる環境づくりに関して

- (1) 文化施設は、人々の社会参加を促す社会包括的な機能が求められていますが、高齢化が進む現在、佐野市の文化施設の多くは、老朽化、設備の経年劣化等が進んでいます。高齢者や障がい者も支障なく利用できるように、施設のバリアフリー化や各種設備等の更新が求められております。

また、車社会であることから、各施設利用に関して駐車場の更なる充実が必要ではないかと考えます。

- (2) 佐野市の未来を担う子どもたちへの投資の一環として、現在実施されている子ども芸術鑑賞事業は、人格形成上も非常に有効であると思われますので、小中学校時代を通して鑑賞回数を増やす必要があるように思います。子どもたちが本物の芸術に触れる機会を増やし、体験分野を広げることが、心豊かな人間形成の更なる一助となるのではないのでしょうか。

現在、文化協会では小中学生に直接文化芸術に触れてもらうため、会員が学校に出向く「出前講座」を実施しておりますが、教育委員会にご推薦いただき、市内各校で取り入れていただくことで、子どもたちが普段できないような体験をする機会を増やすことができるものと考えております。

2 伝統文化・郷土芸能・文化財等に関して

- (1) 佐野市においては「伊藤若冲の菜蟲譜」（国指定重要文化財）、「唐沢山城跡」（国指定史跡）や「天明鋳物」（ユネスコ協会の未来遺産）など他市に誇れる貴重な文化遺産があり各方面から高い評価を受けておりますが、これらの保存、育成のほか、市内外への発信や、施設環境の強化等が必要であると考えます。

- (2) 天明鋳物や、飛駒和紙、ひな人形、藍染等の伝統工芸や、牧歌舞伎、鎧塚宮比講神楽を始め、市内各地に残されている郷土芸能などは、佐野市の宝として保存・継承する必要があると考えますが、後継者不足、資金不足等の課題があり、市としてのバックアップが必要と考えます。

- (3) 市内には、市民が所有している美術品や貴重な古民具、古文書等の資料が多くあると思われますが、それらの散逸を防ぐため、市において、寄贈や寄託など受け入れられる収蔵施設等の環境整備が必要と考えます。

3 市の文化行政に関して

- (1) 「産業・文化立市」をうたう佐野市の文化レベルを高め、活性化を図るためには、市民と一体になって活動を進める市の姿勢と、それを理解し推進する体制づくりが必要だと考えます。また、市民の文化芸術への関心、参加意識を高め、活性化を図るための行政の対策も必要ではないかと思ひ

ます。

- (2) 市内には短大や高校がいくつもあり、文化芸術の活性化を図るためには学識者の高度な知識や技術とともに、若者の新鮮な感性を取り込める環境が整っていると考えます。そこに民間の力も加わる「産・官・学・民」の取組の中に、文化芸術の項目も取り入れることで、更なる活性化も期待できるのではないかと考えます。
- (3) 新たな街づくりに向けて、市内のハード面での整備は徐々に進められておりますが、文化芸術の活性化はそこに住む人、訪れる人へのソフト面での支えになると考えます。街づくりにおいては、文化芸術に関する施設の整備も必要と考えます。街づくりの議論のなかに、文化芸術各分野からの代表者も参加できる取組が必要ではないでしょうか。

4 文化協会の活動に関して

- (1) 会員の活動の中で、施設の利用で不便を来しているところがあります。
旧田沼高校が国際クリケット場として整備されましたが、空き教室等について文化協会でも利用できるようお願いいたします。
市街地から比較的近く、電気・水道設備や音楽室などの特殊教室が揃っているという立地条件、設備ともにとても素晴らしく、文化芸術活動を行う上でもとても有益であると思います。
- (2) 文化芸術を理解する環境文化事業の一環として「佐野桜」の苗木を育苗し、現在市民に配布することで普及推進に取り組んでいます。佐野の地名にちなんだ「佐野桜」を活用した「ゆとりと潤いのある環境づくり」のため、市の事業の中に積極的に取り組んでいただきますようお願いいたします。